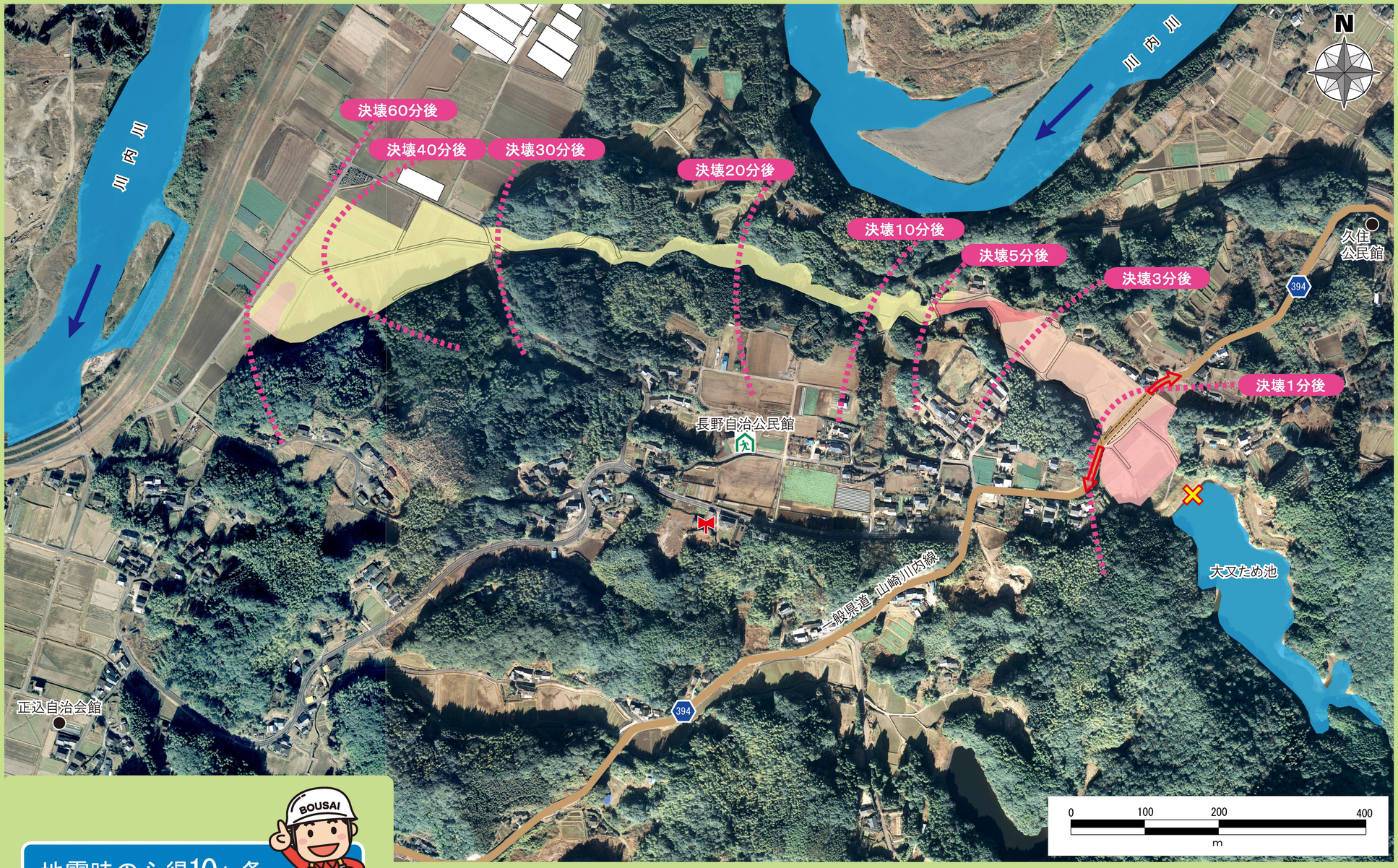
大又（おお また）ため池

堤高10.0m　堤頂長84.0m　総貯水量72,000㎥

ため池ハザードマップ

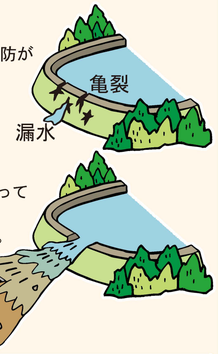


ため池決壊のおこり方とその被害

1 地震で堤防が破損する。
地震同様に、大雨の際にも堤防が破損するおそれがあります。

2 破損した堤防が、貯水に耐え切れず決壊

3 ため池決壊による被害
・大量の水や土砂が濁流となって押し寄せます。
・建物や車は押し流されます。
・道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。



ため池にこんな現象がみられた場合は、決壊のおそれがあります。すぐ避難しましょう。

・堤防に亀裂がみられる。
・張りブロックが壊れている。
・堤防から漏水がみられる。

いざというときの連絡先

機　関	平常時	緊急時
薩摩川内警察署	20－0110	110
薩摩川内東交番	44－3222	110
薩摩川内市消防局	22－0119	119
薩摩川内市役所	昼　間	夜間・休日
	23－5111	23－5115

避難所一覧表

名　称	電話番号
長野自治公民館	―

凡　例

- 屋内の避難所
- 屋外の避難所
- 国　道
- 県　道
- 河　川
- 屋外拡声放送塔
- 公　園

ため池のはん濫に関する凡例

■浸水深
- 5.0m－10.0m 未満の区域
- 3.0m－5.0m 未満の区域
- 0.5m－3.0m 未満の区域
- 0.5m 未満の区域

■はん濫水の到達時間

■想定破堤地点

■避難経路

地震時の心得10ヶ条

1 まず身の安全を！
ケガをしたら火の始末や避難がおくれてしまいます。家具の転倒や落下物には充分な対策を。

2 すばやく火の始末
揺れを感じたらすばやく行動。火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を。

3 戸を開けて出口の確保
震動でドアが開かなくなることも。戸を開けて避難口の確保を。

4 火が出たらすぐ消火
万一出火しても天井に燃え移る前なら大丈夫。あわてず消火を。

5 あわてて外に飛び出さない
飛び出しはケガのもと。冷静な判断を。

6 狭い路地やブロック塀には近づかない
ブロック塀や自動販売機は転倒の恐れが。すばやく避難を。

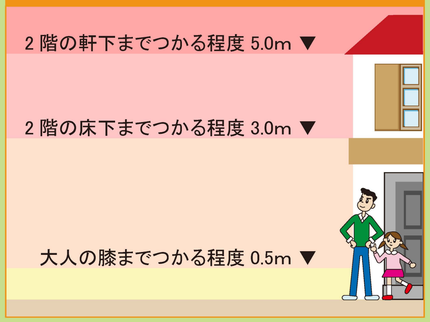
7 協力し合って応急救援
地域ぐるみで協力し合って応急救援の体制を。

8 山崩れ、がけ崩れに注意
居住地の自然環境を把握して二次災害防止の心掛けを。

9 避難は徒歩で
マイカーでの避難は危険なうえ緊急出動の障害に。ルールを守る心のゆとりを。

10 正しい情報を聞く
事実はひとつ。間違った情報にまどわされず的確な行動を。

浸水深の目安



平成２９年 3月 作成
令和２年 3月 修正